



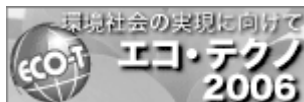
K-RIP情報

KYUSHU RECYCLE AND
ENVIRONMENTAL INDUSTRY PLAZA

2006# vol.2

(財)九州産業技術センター

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (K-RIP)
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13-24
TEL 092-474-0042 FAX 092-472-6609
URL <http://www.k-rip.gr.jp>



エコ・テクノ2006におけるK-RIP事業のご案内

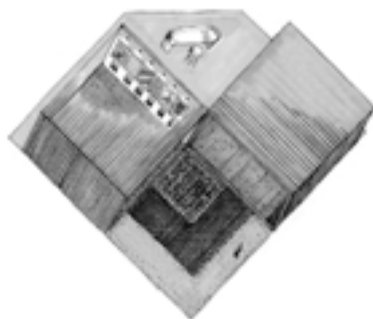
K-RIPは西日本最大規模の環境ビジネスの見本市であるエコ・テクノ2006において、以下の事業を行います。会員の皆様の多数のご参加をお願い致します。

	11月20日(月)	11月21日(火)	11月23日(木・祝)
A M		バイオマス・ニッポンin九州フォーラム 10:15~18:30 「バイオマス関係省庁、政府関係機関等が一堂に会し、施策、取組を一括紹介し、地域に賦存するバイオマス資源を効率的、総合的に利活用するシステムの構築促進、バイオマスのマテリアル・エネルギーの利活用の普及と啓発、バイオマスのマテリアル利用に関する施策、取り組みを一括紹介するセミナー」	環境NPOランチミーティング 12:00~13:00 西日本総合展示場新館プレゼン会場 企業とNPOの協働による新しい可能性(基調講演、事例報告、パネルディスカッション) 13:00~16:45 (株)ワイビーエム代表取締役会長 吉田 哲雄 大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授 山内 直人 NPO北海道グリーンファンド* 理事長 杉山さかえ NPO伊万里はちがめプラン 理事長 福田 俊明 (有)フォレスト・プラクティス 代表 田辺 大 コミュニティ・ビジネス・ネットワーク 事務局長 鶴飼 修
P M	特別講演 「流れを読む 環境問題の変質と対応」 13:10~14:10 国連大学 副学長 安井 至 K-RIP成果発表会 14:20~16:30 K-RIPプロジェクト採択成果発表		

「九州の環境素材展（3Rコラボ）素材・サービス展示コーナー」

昨年「エコ・テクノ2005」において、「生活空間に活かされる九州の環境素材・技術」を紹介するために、K-RIP会員を中心に40社を越える企業の製品の環境素材展示を行い、メディアにも広く取り上げられ、高い評価を得ました。

そこで今年度も「エコ・テクノ2006」において、昨年度同様九州地域環境・リサイクル産業交流プラザでは、九州の環境素材を様々な角度から見て頂けるよう展示を行う予定です。是非とも足をお運び下さい。



エコ・テクノ2006概要

会期：平成18年11月20日(月)~11月23日(木・祝)
主催：北九州市、(財)西日本産業貿易コンベンション協会
<http://www.eco-t.net>

会場：西日本総合展示場
共催：九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)他

平成18年度K-RIP成果発表会

K-RIPでは平成18年度事業として、今年11月に北九州市で開催の「エコ・テクノ2006」の会場において、「K-RIP成果発表会」を行います。

この発表会は、K-RIP会員の皆様が産学連携等で得られた技術、製品開発、課題克服等についての成果を発表していただくものです。

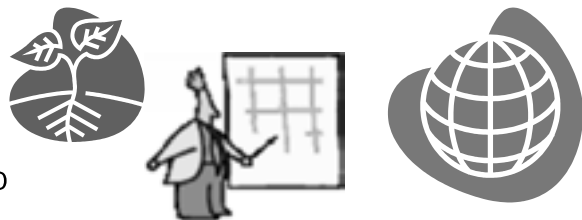
1. 日時：平成18年11月20日（月） 13：00～16：30
2. 場所：セミナー会場B
3. プログラム

time	タイトル	発 表 者	
13:00 } 13:05	【主催者挨拶】	K-RIP プロジェクト部会長 新日本製鐵(株)八幡製鐵所総務部開 発企画グループ 部長	井川 順司
13:05 } 13:10	【来賓挨拶】	九州経済産業局 資源エネルギー環境部 次長	中下 啓志
13:10 } 14:10	【特別講演】 「流れを読む 環境問題の 変質と対応」	国連大学 副学長	安井 至
休憩			
14:20 } 14:40	竹資源の自然循環型活用に 向けて	鹿児島大学農学部生物環境学科 助教授	服部 芳明
14:40 } 15:00	土壌及び有機肥料の安全性 評価の為に土壌病原菌検出 技術の開発の予備調査	長崎総合科学大学 人間環境学部 助教授	石橋 康弘
15:00 } 15:20	地域密着型食品廃棄物循環 システム「メリーズモデル」	楽しい(株) 代表取締役	松尾 康志
休憩			
15:30 } 15:50	脱脂大豆の熱水処理による 食品化	独立行政法人産業技術総合研究所 主任研究員	山田 則行
15:50 } 16:10	エコ・ユニット工法における 森林バイオマス(リター層) の活用について	(株)フクユ緑地 専務取締役	中西 茂樹
16:10 } 16:30	蛍光X線分析用土壌標準物 質の開発	環境テクノス(株)	勝見 和彦

バイオマス・ニッポン in 九州フォーラムのご案内

世界的に地球温暖化防止や化石資源への依存低下への取り組みが進む中で、我が国においてもバイオマスエネルギーの導入の促進が必要とされており、平成18年3月には「バイオマス・ニッポン総合戦略」の見直しが行われ、バイオマス燃料や未利用バイオマスの活用を促進することが閣議決定されました。

そこで、バイオマス関係省庁及び政府関係機関等が一堂に会し、その施策や取組を一括して紹介することを通じ、地域に賦存する様々なバイオマス資源を効率的かつ総合的に利活用するシステム(バイオマスタウン等)の構築を促進するとともに、バイオマスのマテリアル・エネルギー利活用の普及啓発を図るため、バイオマスのマテリアル利用に関する施策や最新の取組を一括して紹介するセミナーを実施致します。



バイオマス・ニッポンフォーラム(セミナー)プログラム

1. 開催日 平成18年11月21日(火)10:15~18:30

2. 開催場所 西日本総合展示場本館中展示場

3. 主 催

九州地域バイオマス関係機関連絡会議、九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構西日本事業管理センター、財団法人西日本産業貿易コンベンション協会

4. 参加対象者(定員300名) 地方公共団体、企業、大学、NPO、一般

5. 開催プログラム(予定、敬称略)

10:15~10:20 開催挨拶

経済産業省九州経済産業局資源エネルギー環境部 部長 廣田正典

10:20~10:50 バイオマス・ニッポン総合戦略について

農林水産省大臣官房環境政策課 課長補佐 野村享司

10:50~11:20 バイオマスエネルギー導入拡大に向けて

経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部新エネルギー対策課

11:20~12:00 NEDO技術開発機構におけるバイオマス技術開発の動向

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構新エネルギー技術開発部バイオマス研究グループ 主査 古賀一寿

12:00~13:00 休 憩

13:00~13:40 農研機構におけるバイオマス技術開発の現状と展望について

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 研究管理監 澤村宣志

13:40~14:20 産総研・バイオマス研究センターの研究内容と今後の展開

独立行政法人産業技術総合研究所バイオマス研究センター 研究センター長 坂西欣也

14:20~15:00 バイオマス利活用推進事業及びバイオマスマーク事業の展開について

社団法人日本有機資源協会 専務理事 宇井勝昭

15:00~15:15 休 憩

15:15~16:00 沖縄産糖蜜からの燃料用エタノール生産プロセス開発及びE3等実証試験概要

(株)りゅうせき バイオエタノールプロジェクト推進室長 奥島憲二

16:00~16:45 食品廃棄物エタノール化リサイクルシステム実験事業について

北九州市環境局環境経済部環境産業政策室 室長 古川義彦
新日鉄エンジニアリング(株) 北九州環境技術センター所長 羽島康文

16:45~17:00 休 憩

17:00~18:30 環境ネットワーク団体交流会

環境分野における企業とNPOの交流会

エコ・テクノ コミュニティビジネス関連事業として、環境分野における企業とNPOとの協働について
セミナー、シンポジウム開催

1. コミュニティビジネス事例発表会（主催：北九州コミュニティビジネス研究会）

日時：平成18年11月23日（木・祝） 10:20～12:30

会場：西日本総合展示場 新館 セミナー会場B

10:30～11:30 基調講演：「コミュニティビジネスのすすめ～産地から心をこめて」

(有)ぶどう畑 代表 新開 玉子

11:30～12:15・事例発表

①白身のアトピー体験をもとに健康食品や無農薬野菜を販売する「無添加ハウス」

②子供の遊び場があるコミュニティレストラン「ピコポコ」

③大里地区のまちづくりを進める「門司赤煉瓦倶楽部」

12:15～12:30 質疑応答

2. 環境NPOランチミーティング（参加費・500円）（主催：K-RIP）

日時：平成18年11月23日（木・祝） 12:00～13:00

会場：西日本総合展示場 新館 プレゼン会場C

環境NPOの皆さんとNPO関連のセミナー講師、K-RIP、エコテクノ関係が参加する社会ネットワークを構築する為のパワーランチ交流会です。

3. 企業とNPOの協働による新しい可能性（主催：K-RIP）

日時：平成18年11月23日（木・祝） 13:00～16:45

会場：西日本総合展示場 新館 セミナー会場B

13:10～14:00 基調講演：「企業とNPOの実りある協働とは：WIN—WINの関係を築くために」

大阪大学大学院国際公共政策研究科教授 山内 直人

14:00～14:30 事例報告：「北海道における新しい町の活力 市民風力発電」

NPO北海道グリーンファンド理事長 杉山 さかえ

14:30～15:00 事例報告：「九州における新しい町の活力 バイオマス事業」

NPO伊万里はちがめプラン 理事長 福田 俊明

15:00～15:10 ～休憩～

15:10～16:40 「九州の環境ビジネスとNPOの協働の可能性」

K-RIP需要創出部会長

(株)ワイビーエム代表取締役会長 吉田 哲雄

大阪大学 大学院国際公共政策研究科 教授 山内 直人

NPO北海道グリーンファンド 理事長 杉山 さかえ

NPO伊万里はちがめプラン 理事長 福田 俊明

(有)フォレスト・プラクティス 代表取締役 田辺 大

コーディネーター コミュニティ・ビジネス・ネットワーク

事務局長 鵜飼 修

環境展示会 他紹介

環境展示会が下記の通り開催され、K-RIP会員企業も出展されますのでご紹介いたします。

1. 琵琶湖環境ビジネスメッセ

会期：平成18年10月25日(水)～10月27日(金)

会場：滋賀県立長浜ドーム（滋賀県長浜市田村町1320）

K-RIPの会員企業の出展：(株)日本リモナイト

2. エコプロダクツ2006

会期：平成18年12月14日(木)～12月16日(土)

会場：東京ビッグサイト {東展示場1・2・3・4ホール}

東京都 江東区有明3-21-1

K-RIPの会員企業の出展：環境テクノス(株)・(株)日本リモナイト

(株)マサキ・エンヴェック・K-RIP

3. 2006NEW環境展福岡

会期：平成18年11月9日(木)～11月11日(土)

会場：マリンメッセ福岡（福岡市博多区沖浜町7-4）

4. 2006NEW環境展大阪

平成18年9月7日(木)～9月9日(土) インテックス大阪

（大阪市住之江区南港北1-5-102）で開催されました。

K-RIPの会員企業から（株）リサイクルワン、日本マグネティックス(株)

(株)大橋が出展され、入場者52,000名盛会のうちに閉会しました。

5. 第6回産学連携フェア

知と技術の融合～高度なものづくり・人づくりを目指して～

会期：平成18年10月18日(水)～10月20日(金)

会場：北九州学術研究都市内（北九州市若松区ひびきの）

開会式・基調講演：10月18日 13:00～14:30

展示会開催：10月18日(水)～20日(金)

セミナー・シンポジウム：10月18日(水)～20日(金)

※ 同時開催：九州地域（知的・産業）クラスター合同成果発表会

平成18年10月19日(木) 13:00～19:00

詳細は 同封のパンフレットご参照の上ご参加下さい。

新規会員企業紹介

今年度(平成18年8月現在)K-RIPには19の新規会員企業さんが加入されました。ここでは新規会員企業さんのご紹介を致します。次号では残りの会員様の紹介を致しますので新規会員様のうち9月以降のご加入、掲載をご希望の場合はK-RIP事務局までご連絡下さい。



株式会社 大 鐵

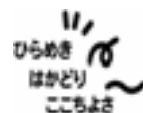
所在地: 大分県大分市東春日町17番57号
電話: 097-551-7522

弊社は土木建設資材の商社として誕生しましたが、その後、工事部門を発足し製品の販売から、製造・架設・建込工事にいたるまで土木事業をトータルに承っています。新規分野として、環境負荷の少ない発光ダイオード(LED)に新しい可能性を感じLEDの各種表示機器から、これまで使用できなかった部分のサイン・照明まで幅広く、お客様のニーズと信頼にお応えできる商品の企画・製作・販売を行うと共に「まごころで地域社会に奉仕する」を創業以来のモットーとして自然と人間環境の調和を重視した事業を推進して参ります。



KOKUYO

コクヨ九州販売株式会社



分別廃棄可能なファイル、県産間伐材を使ったオフィス家具
コクヨグループはエコプロダクツの開発・販売を積極的に
推進しグリーン購入市場の拡大に努めます。

所在地: 福岡県福岡市博多区博多駅前2丁目20番1号大博多ビル3階
電話: 092-437-5941
URL: <http://www.kokuyo-kyushu.co.jp>



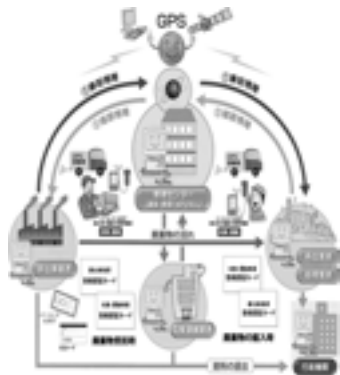
石炭灰が多量に混入された藻場増殖プレートに生育した海藻(クロメ)

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

〒811-2202 福岡県糟屋郡志免町大字志免90番地
TEL: 092-935-2764 FAX: 092-935-4379

住友大阪セメント(株)建材事業部は、コンクリートリハビリテーション(補修・補強)関連製品の製造・販売ほか、特に、九州においては、豊かな海の漁場開発、資源保護、環境保全に貢献する商品を手がけております。①高さ20mの次世代高層魚礁『ハイブリッド魚礁スーパーSK1300S』②幼稚子魚や魚の産卵場、アワビ、サザエ等の住み家となり、さらに海藻によるCO₂固定や水質浄化機能があり海洋環境として極めて重要な藻場を造成する藻場増殖プレート、海藻の垂下式中間育成、多機能型藻場増殖礁K-hatリーフ、など

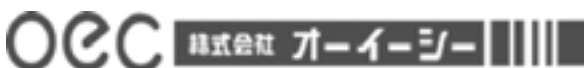
URL <http://www.soc.co.jp> E-mail suzuki@snc-inc.co.jp



NPO法人エコ・テクル

所在地: 福岡県福岡市博多区博多駅前2丁目9-28福岡商工会議所ビル9階
Tel: 092(474)2280 URL: <http://www.ecotechl.com/activity.html>

物品や廃棄物の処理情報についてITを活用したICタグやGPSシステムを利用した「環境ガードシステム」で、廃棄物の移動等をインターネットによるリアルタイムな情報公開を行っています。また、業界初となる学識経験者・環境カウンセラー・市民等第三者による処理業者の認定や格付け評価をする制度を導入し、「より安全・安心」な廃棄物適正処理サービスを管理・運営する管理センターとして廃棄物の適正処理の基盤の整備を強化する活動を行い、地球環境の保全に寄与する事を目的としています。



『ごみ減量化へ向けた循環型社会形成アプローチ』
～ごみ減量のための指標作りをIT技術でサポート～

昭和41年設立。大分本社、東京・関西・福岡の3支社を起点にSIマルチベンダーとして全国に営業展開を行っています。近年ごみ有料化が加速する中、誰が/どんなごみを/どこで/どのくらい/排出しているのか?というごみ排出の実態を把握するということは、ごみの減量化の第一歩と考えております。その指標ともいえるべき数値を把握する為に、私どもは「GPS+センサー」を活用しGIS技術を用い、「ステーション管理・委託会社の管理」、「ごみ量の分析・収集ルートの最適化」などの【総合ごみ情報管理ソリューション】をご提供いたしております。ごみ収集に必要な各種情報を効果的に管理、更には車両の作業状態等をタイムリーに把握できるシステムを実現致します。車両運行管理による安全運転指導や、車両の収集状況の管理等も可能です。私どものIT技術が循環型社会形成の実現に少しでもお役に立てればと思っております。

所在地: 大分県大分市東春日町17番1号 電話: 097-537-9625



理研メディック株式会社

事業内容 無菌治療室ユニット・基板自動洗浄装置・地球環境関連局排設備及び関連製品の製造・販売
No Challenge-No Success



私たち理研メディック株式会社は理化学環境設備機器のトータルシステムサプライヤーとして日々チャレンジを続けています。当社は、メディカル環境関連施設の設計・製造を始めとしバイオケミカル・半導体関連研究設備・ヒュームフード・スクラバー・実験台等の製造メーカーです。

所在地: 千葉県佐倉市王子台3-2-9本丸ビル2階 電話: 043-461-6638
<http://www.riken-medix.co.jp/>

太陽セランド株式会社

弊社は、医療機関・福祉施設・ホテルへのリネンサプライサービスにおいて豊富な商品アイテムと、様々な事業展開を行っています。また、品質マネジメントシステムISO9001・14001を取得するなど厳格な品質管理に注力し「安心・安全・清潔」な環境のご提供にも努めています。さらに時代の変化や取引先と業界を取り巻く環境の変化につれ、尿とりパットの開発やインターネットを利用した通信販売事業も開始し、褥瘡セミナー・院内感染対策に関する講習会等開催し必要とされる会社を目指しています。今後も、「信頼される明るい会社」をモットーに、お客様からの絶対の信頼を取得し、選択され続ける企業体質を構築していきたいと思っております。

代表取締役社長 中島 健介

本 社 福岡県田川市大字川宮1200番地 TEL 0947-44-1895
本 部 福岡市博多区千代1-1-5 TEL 092-641-2578



◆◆◆◆ 広報紙「K-RIP情報」のお知らせ ◆◆◆◆

今回は掲載応募がございました～**島原産業株式会社**～をご紹介します

リサイクル＆エコロジー 島原産業株式会社

当社の炭化技術

当社は、木屑をチップ化し他物を原料にして、ロータリーキルン方式の「αカーボン製造装置」を用いて、木炭を製造しています。特徴は、炭化時に外部燃料をほとんど使用しないため、ランニングコストが安価なことです。投入後、約3時間で炭化は完了し、炭化温度は750～850℃程度です。また、炭化装置は自由設計が可能で、お客様のニーズに合わせてプランニングが可能です。

炭化事業の可能性

本事業におけるポイントは、木屑受入時に処理料金として収入になり、さらに製造する木炭も製品として販売できる点にあります。これまで、様々な廃棄物の炭化試験依頼があり、木屑以外の有機系廃棄物についても炭化処理が注目されています。また、平成15年10月1日付けで、中国産木炭が輸出禁止され、これに替わる燃料炭の開発を行い、平成17年2月より、燃料炭の製造販売も開始しました。

島原産業株式会社

所在地: 長崎県島原市有明町湯江丙1960-1
TEL: 0957-68-0388 FAX: 0957-68-5968

e-mail: info@sumi-web.jp
URL: <http://www.sumi-web.jp>



営業品目

- 炭化装置製造販売
- 燃料炭製造販売
- 法面緑化基盤材「炭パワーソイル」販売
- その他炭製品の製造販売
- 産業廃棄物処理業
- 産業廃棄物収集運搬業

広報紙「K-RIP情報」への会員情報掲載について

技術紹介、表彰、各企業の紹介他各会員の情報にスポットをあて紹介いたします。
情報の掲載を希望される方は、K-RIP事務局までご連絡ください。
(連絡先 下段)

編集後記

地球環境問題の進展等、環境・リサイクル産業はますます厳しく、重要になっていくと思われます。会員の皆さまの役に立つK-RIPを目指していきます。皆さまも遠慮なく、お問い合わせ等いただきますようお願いいたします。

【Kyushu Recycle and Environmental Industry Plaza】(K-RIP)

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (K-RIP) 事務局

〒812-0013
福岡市博多区博多駅東2丁目13-24
(財)九州産業技術センター内
TEL 092-474-0042
FAX 092-472-6609
URL <http://www.k-rip.gr.jp/>
e-mail info@k-rip.gr.jp

